



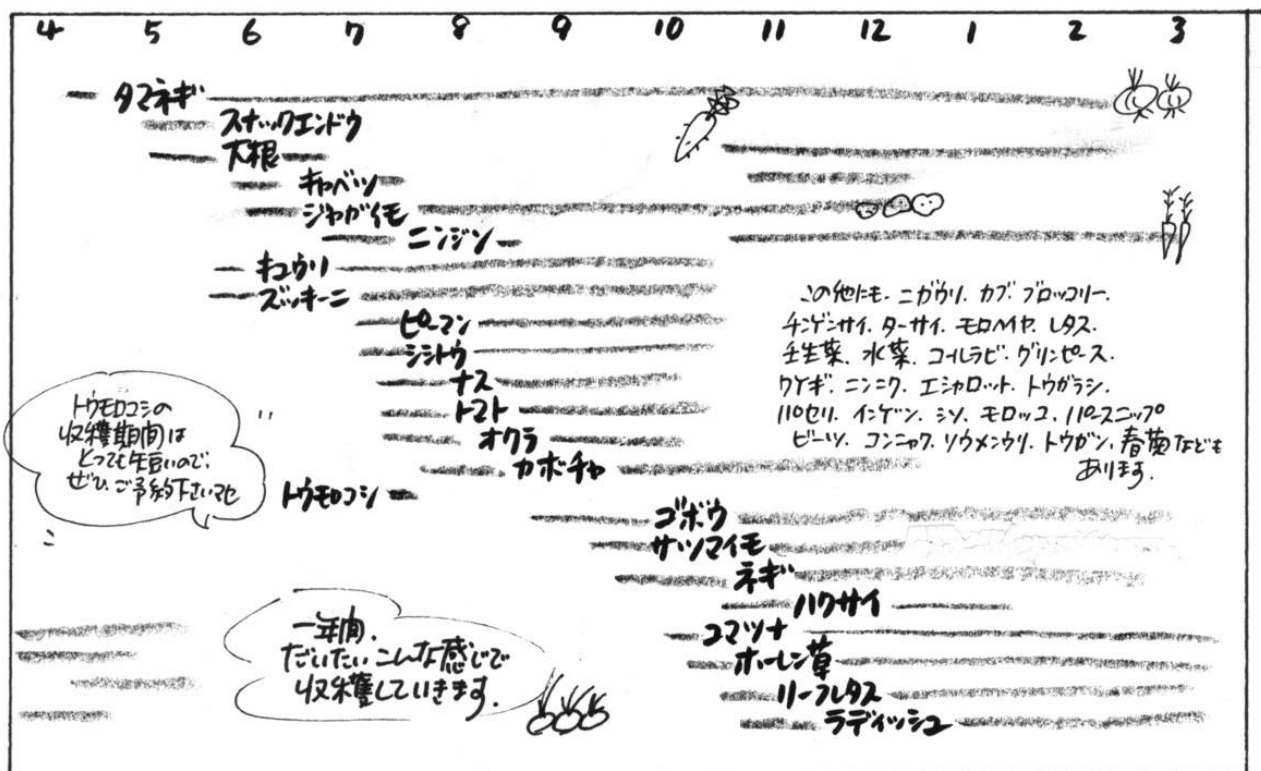
12月31日、畑に積もった雪は30cm。ハウスの雪おろしをしました。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします

雪の降らないままお正月を迎えることになるのかな…と思っていたのですが、12月29日の朝になって、この冬初めての雪が降りました。まだ、うっすらと積もるくらいで、お屋には溶けてしまいましたが、やっと本格的な冬の寒さがやってきました。

毎朝霜が下りるようになり、ジュンコさんが服を6枚も7枚も着込んで仕事にくるようになると、露地のハウレン草がグリーンと甘みを増してきます。仕事をするのには暖かい冬のほうが楽なのですが、冬の野菜の自然な甘さは、この厳しい寒さがあってこそのおいしさです。

12月21日の冬至の日、はしもっちゃんは、ちょうど日の出とともに畑へ行き、西の空に沈む夕日とともに家に帰りました。日の出から日没まで、太陽とともに仕事をしたはしもっちゃんのこの日は、なんだかとても自然な感じがいい感じ。12月になって、腐葉土をとりに入った山の木の下は、落ち葉が積み重なってしっとりとした感じがいい感じ。そして、キクイモ掘りをしていて掘り出してしまった、くっついて眠る冬眠中の2匹の小さな力エルも不思議といい感じ。この自然の中で働くことができることに感謝して、2005年もがんばります。今年も私たちと、畑の野菜たちを、どうぞよろしくお願ひいたします。



一番おいしかった野菜は何ですか？（2004年12月のアンケートより）

- * 山本さんのお野菜はキュッと味がしまっていて、甘くて大好きです。中でも、ゴボウ、人参、サツマイモ、タマネギ、トマトの味は格別です。（広島市 Hさん）
- * 夏に届いたトマトがとても濃厚な味で甘く香りもよく、印象に残っています。ホウレン草も大好きです。（広島県 Mさん）
- * 一番を決めるのが難しいくらいどれもおいしいですよ。食べ物にあまり口を出さない主人が、「やっぱりここのはおいしい」と言います。特にサラダにして食べるもの(生で食べるもの)がおいしいそうです。（広島市 Mさん）
- * 水菜。スーパーの水菜と違い、シャキシャキしていて、娘は水菜のサラダが大好きです。（三重県 Hさん）
- * 水菜、ミニトマト、キュウリ、ターサイ、スナップエンドウ、小松菜、チンゲンサイ、ゴボウ…、数え上げればきりがなく、一番おいしかった野菜をあげるのは難しいです。（東広島市 にゃん吉さん）
- * 大根…生で大根サラダ、葉っぱはじゃことかつおぶしとゴマと炒めて、ご飯と一緒に。
水菜…大根サラダと混ぜたり、生でバリバリ食べてます。
カブ…鶏肉とあげと薄味で煮たら、ほっこりしていておいしかったです。（大阪府 Nさん）
- * 白菜かなあ…。人参も♡ ブロッコリーは幻のようでした。小松菜、甘くてうまい。（広島県 かちゅまるさん）
- * 本当に子どもの感覚？ 身近に接した新しい記憶から“太ネギ”が気に入っています。今回もクリームシチュー、鮭といっしょに。（奈良県 Tさん）
- * 何が一番とつけにくい程、すべておいしいですね。根ものは根で、葉ものは葉で、すべておいしいです。トマトの甘み、ラディッシュの歯ごたえ、人参の自然の甘さ、歯ごたえがあるのにやわらかいゴボウ、すべておいしいです。（広島市 れいこさん）

たくさんのお便り、ありがとうございました

- * 台風の影響で野菜が高値のとき、山本さんちの野菜が届き助かりました。野菜が届いた日には、すぐに洗い、大きなザルに入れ、青々とした新鮮な野菜を主人や子どもたちと一緒にまず目で見て、それから料理します。（三重県 Hさん）
- * 土のついた野菜にお目にかかることは少なく、本来の野菜の姿に接したり、土を落としながら料理にかかるのもいいものです。（奈良県 Tさん）
- * 一年間、季節のおいしい野菜を届けていただきありがとうございました。食事時、山本さんから届く野菜を食べると、エネルギーを得た気分になります。（広島県 Mさん）
- * ターサイの緑色がとてもいい色をしていました。（広島県 Kさん）
- * 畑便りは、いつも楽しく読ませてもらっています。畑の様子がわかってうれしい。（広島県 かちゅまるさん）
- * 野菜セットの価格が変わりましたが、その分野菜も増えたような気がします。ちょうどいい量だし、最近届く野菜はなじみのある野菜が多く、使いやすいです。（広島市 Mさん）
- * ものを作るのに大変お忙しいと思いますのに、「はたけは…」でお便りを頂き、野菜のおいしさと共に山本ファミリーの様子もわかり、嬉しいです。（広島市 れいこさん）

2005年も
どうぞよろしく
お願いします。



とんちん
山本

のぶ
山本伸子

田丸淳子

福原ミズエ

はま
橋本玲子

山本ファミリー農園の
みんな...



畑に通いはじめて、初の冬がとうとう
やって来た。北風が冷たい。朝はやくの
収穫作業は指先が痛い。重ねてはめた
手袋のかいもないのか...

本当に寒い日は野菜も凍る。冷たいのは
私の手だけではなかった。私は畑で野菜が凍っているのを
この冬、生まれてはじめて見た。緑の色をいつもより
濃くし、ギョとちぢく、細くなっているように見えた。
さわるとキシキシした。こんな時は、おてんとウサマが登って
あたたかくなるのを待って、収穫をはじめ、10時前頃になって
行ってみると、凍っていた野菜もおてんとウサマのちからで、元通り。
ふんわりとした姿にもどっていた。冬の寒さとおてんとウサマのあたたかさ...
冬の厳しさの中で、野菜も人もたくましく育つのでしょうか...

朝日かのぼって 夕日がおちて...冬至の日。

冬至の日、私と伸子さんと田丸さんは、山におちていく夕日をみながり
感動していた。夕日の美しさはもちろんだけど、何に感動したかというと、
私が朝日も見ていた。朝日かのぼった頃から、夕日がおちるまで畑で仕事して
いた。ということに気づいたからだ。三人で「昔のお百姓さんみなじゃねえ。
こんな感じだったんじゃないか」とうれしそうにニヤニヤしながら話した。
後で調べてみると、2004年は12月21日の広島の日出は7:13、日の入りは17:04。
7時から17時まで働いている私は、まさに日の出から日の入りまで畑にいたのだ。なんだかた
うれしかった。

畑の日記

畑のお仕事
2005.
1月
はま
新米さんの
はじめ

